



オープンアクセスとセルフアーカイビングについて

エルゼビアの対応

金沢大学自然科学系図書館開館記念シンポジウム

2005年11月22日

エルゼビア・ジャパン株式会社

高橋 昭治

s.takahashi@elsevier.com

本日の話の流れ

- エルゼビアの現状
 - ジャーナル出版の現状
 - ScienceDirectの現状
- エルゼビアのオープンアクセスへの対応
 - オープンアクセス・ジャーナルに対する考え
 - セルフアーカイビングへの対応
 - 機関リポジトリ
 - 分野別リポジトリ
 - 出版の一定期間後の無料公開

エルゼビアのジャーナル出版の現状

- 約1,800誌を出版
- 年間約270,000論文(2004年)
 - 前年比約5%の増加
- 4,000人のエディター、
40,000人のエディトリアルボードメンバー
- Author Gateway (<http://authors.elsevier.com>)
 - 著者向けの投稿情報と受理後の原稿のトラッキング
 - 登録ユーザーは約250,000人
- Electronic Editorial Systems
 - オンライン投稿システム
 - 現在、約750誌のピアレビュー・プロセスを電子的に処理
 - 2006年末までに全ジャーナルの処理を電子化する予定



主要STM出版社の論文シェア

	2003年	2004年
Elsevier	24.6%	25.0%
Springer (Kluwer Academicを含む)	8.3%	7.7%
Blackwell	4.9%	5.3%
Wiley	4.5%	4.6%
Taylor & Francis	3.2%	3.0%
American Chemical Society	3.0%	3.0%
American Institute of Physics	2.2%	2.8%
Wolters Kluwer	2.8%	2.7%
IEEE	1.8%	1.9%
American Physical Society	1.7%	1.7%

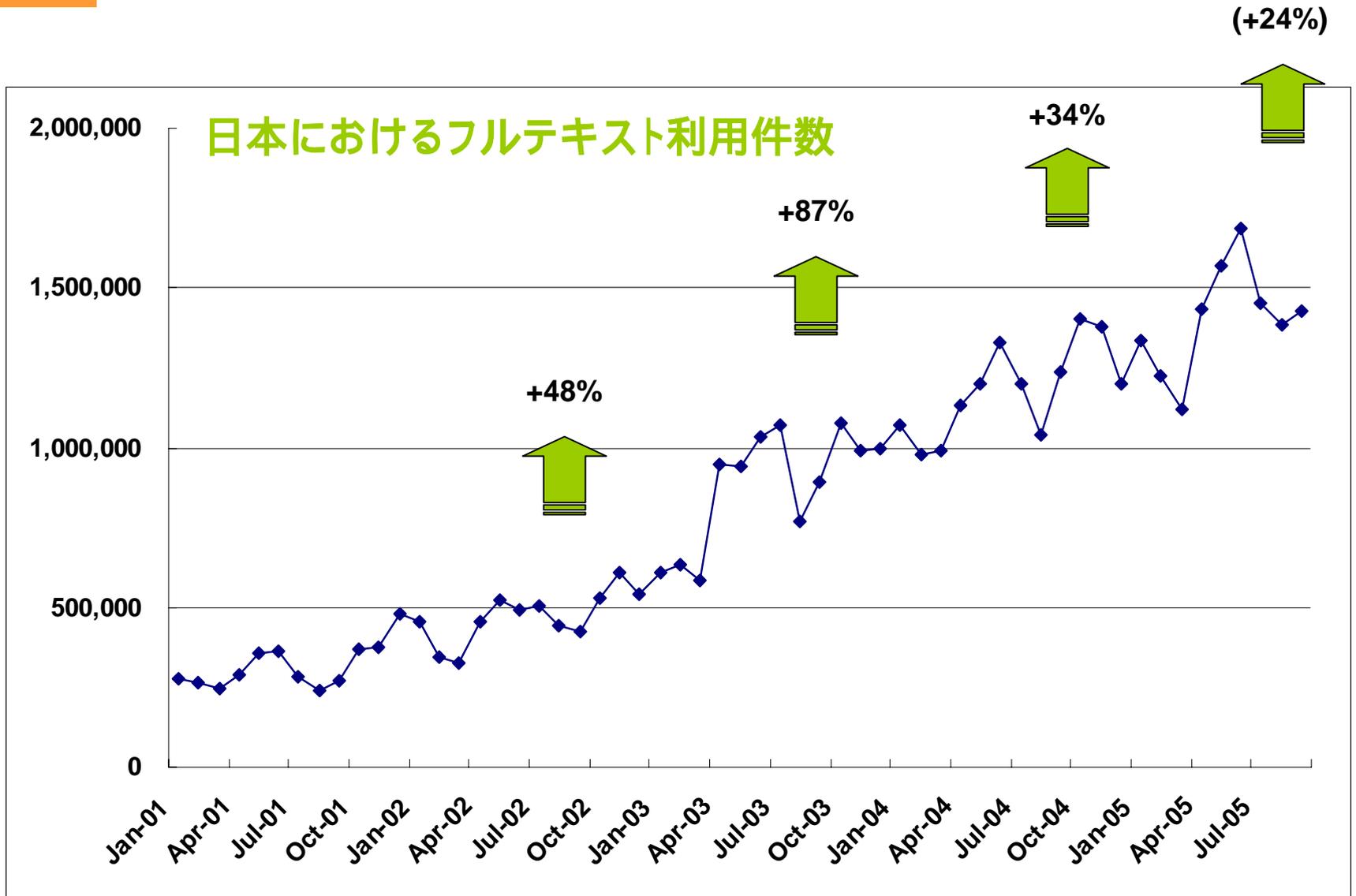
(ISIデータに基づく社内分析)

ScienceDirectの現状

- 搭載論文数: 約730万件 (2005年11月現在)
- バックファイル・プログラム (1995年より前のデータの電子化) がほぼ完了
 - 約430万件がバックファイル
 - 最も古い *The Lancet* は1823年まで遡る
- 冊子体にはない特長
 - Articles in Press (出版前の論文の公開)
 - マルチメディア
- 非購読誌へのアクセス・オプション
 - フリーダム・コレクション
 - サブジェクト・コレクション
 - シェアード・アクセス (コンソーシアム向け)
 - ペーパービュー
- 冊子体の利用形態の電子ジャーナルへの拡張
 - 図書館相互貸借
 - ウォークイン・ユーザー



ScienceDirect利用の伸び



エルゼビアのオープンアクセスへの対応

- オープンアクセス・ジャーナルに対する考え
- セルフアーカイビングへの対応
 - 機関リポジトリ
 - 分野別リポジトリ
- 出版の一定期間後の無料公開

オープンアクセス・ジャーナルに対する考え

- オープンアクセス・ジャーナル(著者が出版費用を負担)
 - Public Library of Science、BioMed Centralが代表的
- エルゼビアの考え
 - 他社の動向を注意深く見守っているが、現在のままのモデルは、長期的、大規模には維持が困難であると考えている。
 - オープンアクセス・ジャーナルが著者に課金している1論文あたりの金額は、実際の出版費用よりもはるかに少ない。
 - オープンアクセス・ジャーナル(他機関からの助成を受けている)
Public Library of Science: US\$ 1,500 BioMed Central: US\$ 525
 - ハイブリッドモデル(購読型とオープンアクセスの両方を提供)
Springer Open Choice: US\$ 3,000
Blackwell Publishing Online Open: US\$ 2,500
 - Open Society Instituteの試算によれば、STMジャーナルの1論文を出版するための費用は平均US\$ 3,759

オープンアクセス・ジャーナルに対する考え(続き)

- エルゼビアの考え(続き)
 - 新しい論文を出版するためだけの費用では、電子ジャーナル・システムの長期的な維持、技術の変化への対応が困難である。
 - すべてのジャーナルがオープンアクセス・ジャーナルになった場合、費用負担が、論文発表の多い一部の研究志向の大学や研究機関に集中するため、不公平が生じる。

機関リポジトリへの対応

- 機関の研究成果を機関リポジトリに搭載しようという動きが活発になっている。
- エルゼビアの対応
 - 基本的には機関リポジトリを支援しているが、著作権保護、出版社による付加価値とのバランスも考慮している。

機関リポジトリへの対応(続き)

- 著者によるウェブ掲載に関するエルゼビアの方針
 - 論文の出版後、最終原稿の著者バージョンを個人または所属機関のウェブサイト(機関リポジトリを含む)に掲載できる。
 - 最終原稿・・・査読および編集の過程でなされた変更を反映させることができる。
 - 著者バージョン・・・Word、TeXなど著者が用意したファイル。ScienceDirectからダウンロードしたPDFやHTMLは不可
 - 論文の書誌情報、DOIまたはScienceDirectのジャーナルホームページへのリンクを掲載すること
 - 商業目的の使用は不可

分野別リポジトリへの対応

- 研究助成機関が特定の分野別リポジトリに最終原稿を提供することを要請または義務化する動きが出てきている。
 - 米国国立衛生研究所 (National Institutes of Health: NIH)
 - 英国ウェルカム財団 (Wellcome Trust) など
- エルゼビアの対応
 - 助成機関ごとに方針または合意を形成することが必要
 - 著者が最終原稿を個人または所属機関のウェブサイト以外に掲載することは認めていない。
 - 同一内容を複数のチャンネルで出版するプログラムを支持することは難しい。
 - エルゼビアの方針と助成機関の方針が矛盾することによって、著者の投稿先の選択の自由が奪われたり、著者を違法な状態におくことは避けなければならない。

分野別リポジトリへの対応(例1)

- NIHパブリック・アクセス・ポリシー
 - 2005年5月2日以降、NIHから助成を受けた研究に基づく論文の最終原稿を、出版後12ヶ月以内にPubMed Central (PMC)に提供するように要請する。
- エルゼビアの対応
 - 著者が希望した場合には、著者に代わってエルゼビアがPMCに最終原稿を提出した上で、出版の12ヶ月後にPMCに対して一般公開する許可を与える。

分野別リポジトリへの対応(例2)

- 英国ウェルカム財団のオープンアクセス計画
 - 2005年10月1日以降にウェルカム財団の助成を受けた研究に基づく論文は、出版後6ヶ月以内にPMC(またはUK PMC)に最終原稿を提供しなければならない。
 - 2006年10月1日以降は、ウェルカム財団の助成を受けた研究に基づくすべての論文は、出版後6ヶ月以内にPMC(またはUK PMC)に最終原稿を提供しなければならない。
- エルゼビアの対応
 - 対応策を検討中

出版の一定期間後の無料公開

- 論文の出版から一定期間経過した後に無料公開
 - Delayed AccessまたはEmbargoと呼ばれる。
 - Budapest Open Access Initiative (BOAI) が定義するオープンアクセスではない。
 - HighWire PressやPubMed Centralで提供されているライフサイエンス系ジャーナルの多くがこのモデルを採用
- エルゼビアの対応
 - Cell Pressの10タイトル (*Cell*, *Neuron*, *Molecular Cell* など) は、1995年以降、かつ12ヶ月経過した論文を無料公開
 - *FEBS Letters* は、12ヶ月経過した論文を無料公開

参考URL・参考文献

- Open Society Institute. Guide to Business Planning for Launching a New Open Access Journal. Edition 2, July 2003. p.16
http://www.soros.org/openaccess/oajguides/business_planning.pdf
- Author Posting of Final Papers to Public Web Sites
http://www.info.sciencedirect.com/licensing/policies/author_posting/
- Policy on Enhancing Public Access to Archived Publications Resulting from NIH-Funded Research
<http://grants.nih.gov/grants/guide/notice-files/NOT-OD-05-022.html>
- Elsevier NIH policy statement
<http://www.elsevier.com/wps/find/authorshome.authors/nihauthorrequest>
- Wellcome Trust Announces Open Access Plans
http://www.wellcome.ac.uk/doc_WTX025191.html
- Open Access: yes, no, maybe
Karen Hunter, <http://www.nature.com/nature/focus/accessdebate/3.html>
- エルゼビアの電子戦略
高橋昭治、情報の科学と技術 Vol.55 No.6 (2005.6)